



《将来に向けた取組方針》

五洋建設は、経営理念に「豊かな環境の創造」を掲げ、地球環境及び生物多様性を保全するため、事業活動を通じて水域環境の創造等、自然との共生に貢献することを目指しています。

グリーンインフラ（自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方）の整備や脱炭素社会実現に向けたブルーカーボン生態系の形成においても、生物多様性保全等の取組みを行います。また、当社が建設工事を行っている海外諸国においても、自然共生社会の実現に貢献していきます。

〈具体的取組み事例〉

● 河口干潟の生態系に配慮した橋梁の建設

多摩川スカイブリッジの整備では、河口の干潟の一部を浚渫により改変する必要がありました。施工計画段階から有識者とともに干潟生物への配慮を検討し、工事の影響を最少化して干潟の復元工事を実施することにより、干潟の早期回復と生態系の保全を実現しました。



多摩川スカイブリッジ全景



干潟でのカニの生息状況

● 人工干潟の造成

大島干潟（山口県周南市）は、アサリの生息環境創造のため、浚渫土を利用して造成した干潟です。造成後も生物相の遷移や地盤状況を継続的に調査し、干潟環境を未来に繋げる活動に貢献しました。現在ではアマモ等も根付き、ブルーカーボン生態系としても機能しています。



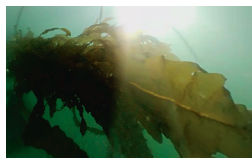
大島干潟全景



アマモとメバル稚魚

● 海藻生育基盤の開発

海藻の生育を促進する取組みとして、浚渫土を利用した人工石による基盤を開発した。生長した海藻はCO₂を固定するとともに、多様な生物の生息場となることが期待されます。



ワカメ生育状況

● 植樹活動への参加

マダガスカルでの自然保護を目的とした、マダガスカル環境省主催の植林ボランティア活動に参加しました。



植樹状況